

# 原発ゼロノミクス宣言

2012年。

日本は、福島第一原発の未曾有の事故の反省の上に立ち、原発ゼロへの道筋を示しました。政治を動かしたのは、圧倒的多数の市民の、脱原発への意思表示です。

その道筋が、政権交代後の経済政策「アベノミクス」の影でゆらいでいます。住んでいた土地を奪われ、耐えきれない不安を抱えながら日々を過ごす福島の人々、脱原発を願う多くの人々の声が、かき消されようとしています。このまま原発依存へ逆戻りすることが、果たしてよいことなのでしょうか。

世界中の多くの国や企業が、事故後、原発からの撤退を決めました。原発の不採算性が明らかで、経済的にもプラスにならないとわかったからです。そして原発と化石燃料から、イノベーションが進み価格も安くなった自然エネルギーに猛スピードでシフトしています。

本来なら、事故がなかったとしても、日本がいちはやく取り組むべきこと。今後人口の減少にあわせてエネルギー消費も減っていく日本に、大量生産・大量消費を前提にしてウランや化石燃料の輸入に24兆円も支払うエネルギー政策は、もうふさわしくありません。

「原発ゼロノミクス」は、原発依存、エネルギー輸入にたよる古い経済のしくみを見直し、自然エネルギーをコアにした地域分散ネットワーク型経済への移行を考えていきます。

キーワードは、「省エネ」「創エネ」、そして「ITネットワーク」。  
これまで、原発や化石燃料のエネルギーを使うことで地域の外に流出していたお金を自然エネルギーの地産地消によって地域内にとどめ、多彩な関連産業と雇用を創出。地域経済を元気にすることで、脱温暖化しながら日本経済全体の再生をめざす経済システム提案です。

主役は、国でも大企業でもありません。  
そこに住み、そこで生き、原発ゼロを求める私たち一人ひとりがプレイヤーになって、新しい経済を作っていきましょう。

あなたの原発ゼロノミクス宣言をお待ちしています。



<http://zeronomics.wordpress.com/>